

三の丸

平成25年6月26日

小田原市立三の丸小学校

学校教育目標

自然や地域・社会と共に 学び合い高め合う 心豊かで健やかな子

『きゅうりはヘタがなく、ナスはヘタがあるのは、どうして?』

こんな質問をお子さんがしてきたら、どのように反応されますか。

「そんなつまらないこと言っていないで、算数や国語の勉強をしなさい。」

と言ってしまう方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

先日、「宇宙の学校」という親子で取り組む、工作と実験を中心としたプログラムで「子どもの心に火をつける!」という活動をされているJAXAの的川先生に、この話を聞きました。

「ここは、子どもの心に火をつける瞬間です。この瞬間を失わないようにしましょう。」と話されていました。この場では、「分からないなあ。一緒に考えようか。」という反応が、子どもの心に火を付けるそうです。

『一方的に教えたい気持ちを抑制して、子どもの心の状態から出発することの大切さは(今も昔も)変わらない』とおっしゃっていました。

日常的に、子どもが感じている「はてな?」が、子どもの心に火をつけ、やる気パワーがみなぎるように、私たち大人も、余裕を持って子どもと接することが大切だと感じました。

6月3日(月)~4日(火)日光修学旅行

全く天候の心配をすることなく、2日間を過ごすことができました。

湯滝での女子2名との会話です。

「校長先生、どこの小学校から来たの?」などと話しながら歩いていたら、滝の音が聞こえてきました。振り向いて、滝に気付いた二人は、顔を見合わせて、「すごーい」と言って滝に向かって走っていききました。滝の水量が多く、河床をたたく水の音は迫力がありました。

2日間は、6年生の素直さと優しさにもたくさんふれることができた旅行でした。



《校長室より》

☆ 子どもたちのコミュニケーション能力が課題に挙げられることが多くなりました。

- ・ 友だち(特に異性に)へ乱暴な言葉使いをする子
- ・ 大人とは話せるが、友だちにどう声をかけていいのかが分からない子
- ・ 大人へも友だちと同じ言葉使いで話す子

こんな子どもたちが増えてきたようです。6月初めに、校内を歩いている時に、右の掲示物を見つけました。階段の踊り場にある「あったか あいさつ」の上にあります。こんな言葉を使えることができれば、コミュニケーションも深まることでしょう。

実際の場で使うことができる子どもたちを育てていきたいと思いました。

(た) いじょうぶ?
 (あ) りがとう
 (い) っしょにやろう
 (す) ごいね
 (き) っとできる